

出版情報登録センター「第2フェーズ」説明会 ～もっと使えるJPROへ～

＜東京第1回目＞

日時：2017年10月6日（金）14：00～15：30

場所：一橋講堂

主催：一般社団法人日本出版インフラセンター
出版情報登録センター（JPRO）

＜東京第2回目＞

日時：2017年10月18日（水）14：00～15：30

場所：メディアドゥ「セミナールーム」

主催：一般社団法人日本出版インフラセンター
出版情報登録センター（JPRO）

■ 出版情報登録センター（JPRO）設立の経緯

日本出版インフラセンター(JPO)では、これまで「商品基本情報センター」(2006年開始)と「近刊情報センター」(2011年開始)によって、紙の本の書誌情報の集配信を行ってまいりましたが、2015年1月より施行された「改正著作権法」に対応する紙と電子の書誌情報と出版権情報の登録と照会、さらに販売促進情報の集配信の機能も加えた業界システム構築のため、「出版情報登録センター」を、2014年12月に設立いたしました。

出版情報登録センター（JPRO）は、出版物の近刊情報・販売促進情報・出版権情報・基本書誌情報を一元管理し提供することによって、出版業界全体の効率化を目指し、出版物の円滑な流通に、より一層寄与する目的で、2015年7月にスタートしております。

◆ **基本書誌情報登録数** : **1,189,066 点**

<内訳>

- **紙書籍登録数** : **1,012,050 点**
- **電子書籍登録数** : **177,016 点**

2017年8月31日現在

◆ **情報発信社(出版社／団体)** ... **967 社**

◆ **受信利用社(書店／取次会社)** ... **135 社**

◆ **利用店舗数(書店)** ... **5,000店舗(推定)**

◆ **新刊比率**... **44.6 %** **配本比率** ... **53.5 %**

2017年8月31日現在

新刊比率60%以上！配本比率70%以上！を目標としています！

■ 出版情報登録センター（JPRO）は 新しく生まれ変わります！

ご利用の皆様のおかげを持ちまして、紙の書誌情報登録点数が100万点を超え、電子書籍登録点数は17万点を超えております。また、出版権情報登録点数も順調に増加しております。

この度、ご利用の皆様にとって「使えるJPRO」から「もっと使えるJPRO！」を目指して、バージョンアップした第2フェーズを2018年4月にスタートします。

更に2018年10月には、書協データベースと統合し、これにより登録点数が200万点を超えます。

当センターは2018年4月に新しいセンターとして生まれ変わります！

新しいJPROには、5つのメリットがあります！

- | | |
|---------------|-----|
| 1. 出版業界のメリット | P.5 |
| 2. 出版社のメリット | P.6 |
| 3. 取次会社のメリット | P.7 |
| 4. 出版輸送上のメリット | P.8 |
| 5. 書店のメリット | P.9 |

◆ JPRO 5つのメリット <1>

出版業界のメリット

出版社と取次会社と書店を繋ぐ共通インフラとなります！

今まで個社ごとに維持管理してきたシステムも業界のスケールダウンで今後単独での運用が難しくなることが予想されます。

業界で唯一の共通インフラとしてのJPROは大きなメリットとなります。

出版社のメリット

出版社の負担を軽減します！

今まで例えば取次各社とか、書店様向けにそれぞれの書式で提出していた基本書誌情報や仕入れ情報、販売促進情報を一元管理します。

JPROに登録すれば、本の情報はすべてに配信される、そんな環境を目指します。

取次会社のメリット

取次会社の負担を軽減します！

既に日販では仕入れ窓口やNOCS7で活用しており、トータルでも書誌データ作成のベースとして参考に使っています。

第2フェーズ以降では更に新刊案内・速報・週報への活用や仕入れ情報としての活用により、仕入れ窓口での出版社の待ち時間短縮などにも貢献出来ると考えています。

出版輸送上のメリット

昨今話題の輸送問題の解決にも寄与します！

出版輸送は大きな問題を抱えています。
搬入業量の分散化が必要です。

仕入れ情報を J P R O 経由で受け取る理由は輸送
バランスを確認する為です。早めの輸送計画のためには部
数・重量・寸法が必要です。

◆ JPRO 5つのメリット <5>

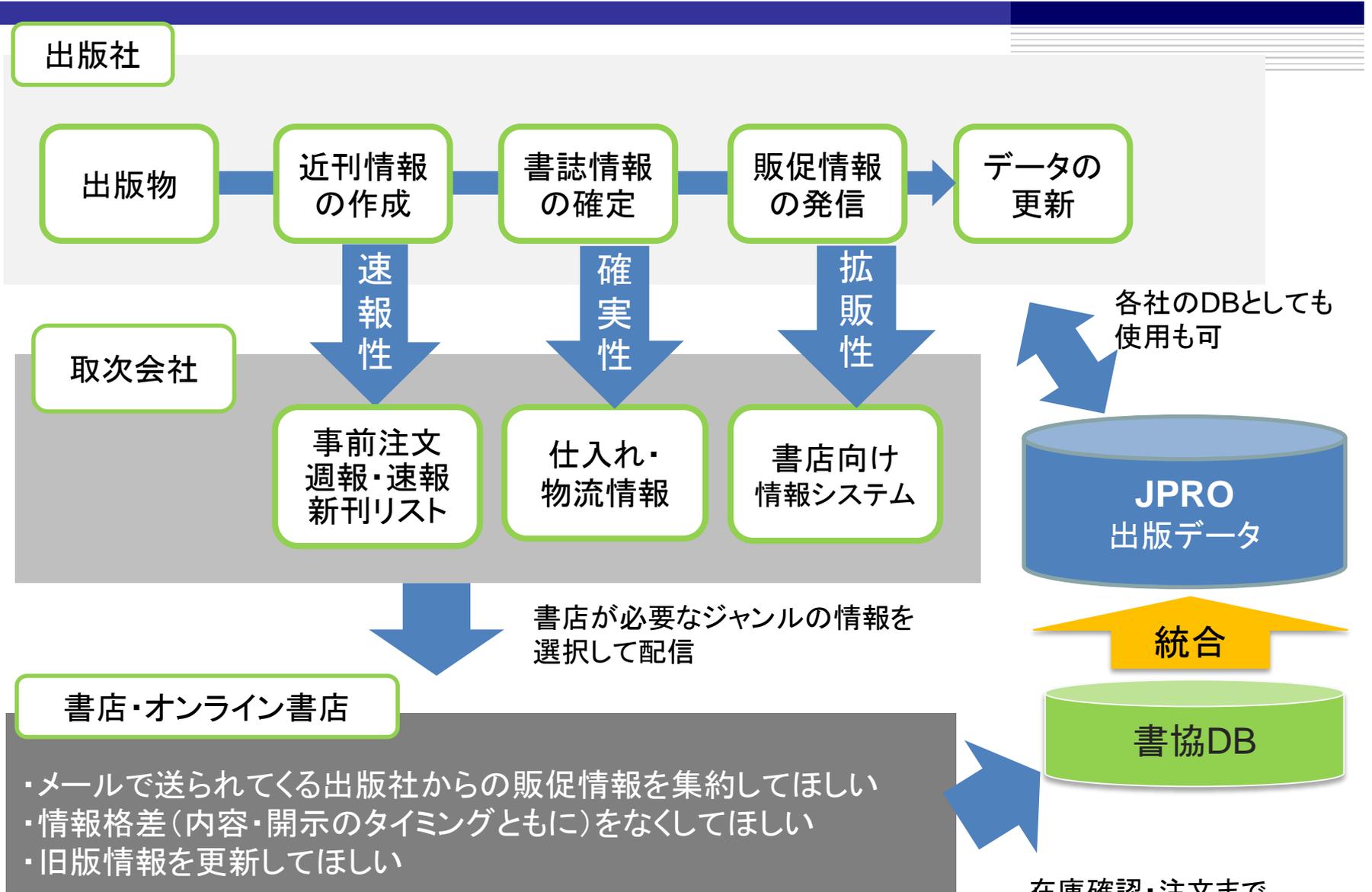
書店のメリット

書店ごとの情報格差を軽減します！

従来の近刊情報としての利用価値を高めます。
より詳細な事前情報で予約活動を促進します。

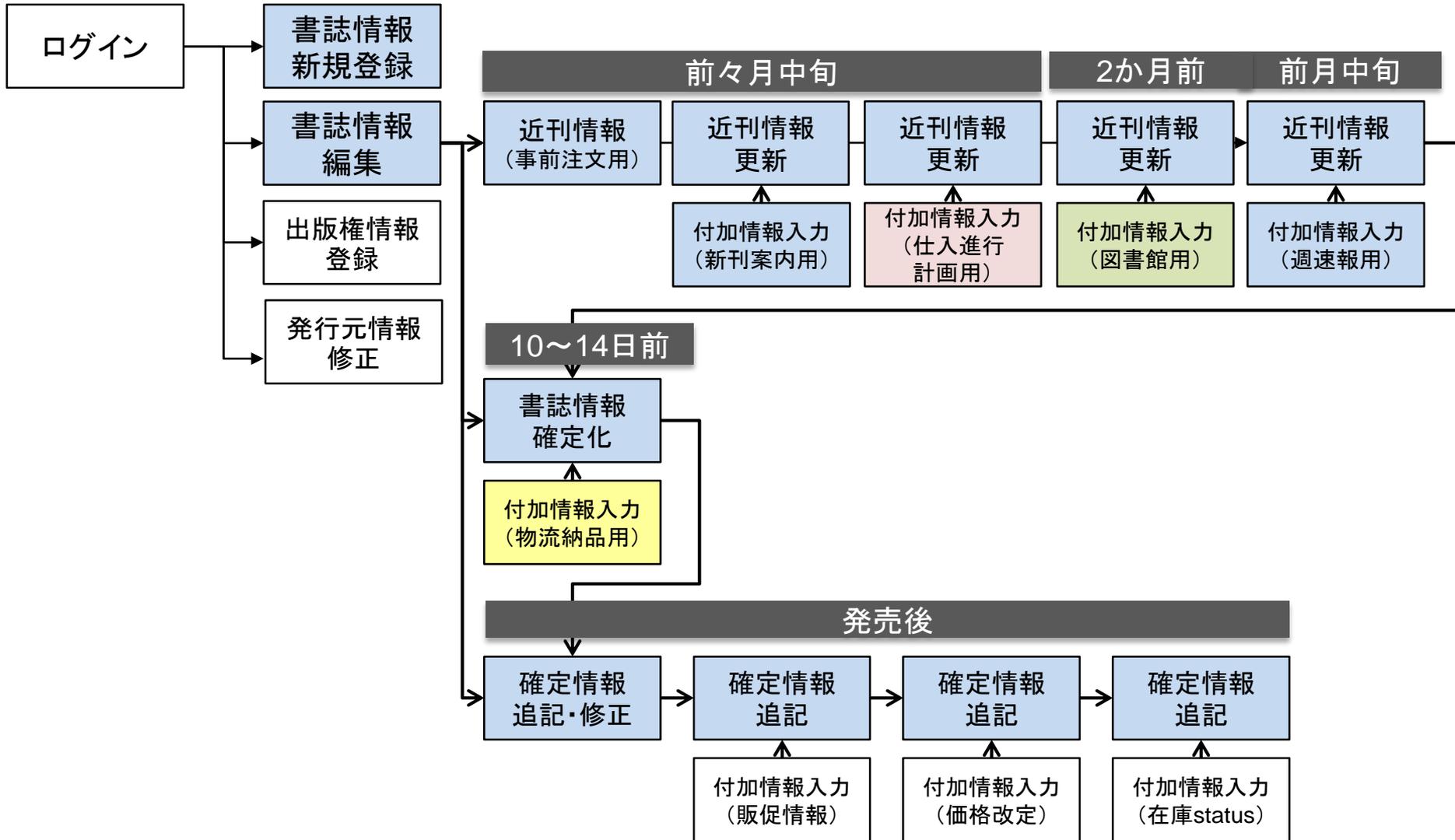
また、F A X 等では見逃しがちだったフェア・映像化・
新刊の情報を整理して配信します。また、ジャンルごとに
アーカイブされた情報を検索することも、計画しています。

◆ 取次・書店目線の使えるJPRO



- ・メールで送られてくる出版社からの販促情報を集約してほしい
- ・情報格差(内容・開示のタイミングともに)をなくしてほしい
- ・旧版情報を更新してほしい

登録出版社入力フロー図



■ 受信利用社からのコメント



紀伊國屋書店

近刊情報サービスが、出版情報登録センターの発足により、永続的な書誌情報として運用されるようになり、その実用性が高まっています。

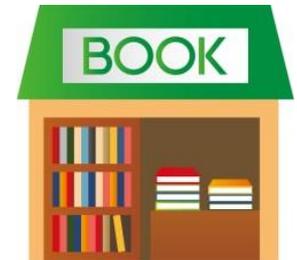
紀伊國屋書店でも、積極的に予約を集めることが出来るようになったり、店頭での刊行前の書籍に関するお客さまの質問に、正確で迅速な回答が出来るようになりました。

今後、さらに情報の統合化が進み、入荷予定をお伝えできたり、販促情報も活用出来るようになることを期待しております。

店頭の業務システムから近刊情報を検索できるようにしており、未刊行図書の間い合わせや接客に活かすことができています。

また、店頭検索機や顧客向けアプリにも活用することで顧客の利便性も向上している。ぜひより多くの出版社様に継続的な登録をいただきたい。

第2フェーズでは、利用するECサイト、書店、読者それぞれで利用想定が異なると思われるが、それらを標準仕様としてしっかりと吸収していただき、登録される情報の質的な充実にも大いに期待している。小売書店としては店頭での商品案内に取り込んでいくなど、より積極的に活用していきたい。



丸善ジュンク堂書店

■ 受信利用社からのコメント



アマゾンジャパン

JPRO様へ登録頂いた情報は、スピーディかつ確実に弊社サイトに反映されるため、お客様に確かな情報をお届けすることができます。時代の流れからお客様の購買行動に「検索」がプラスされた昨今、情報量が多ければ多いほど、お客様の購買判断に良い影響を与えることができ、今後も業界共通インフラとして、ますます内容に厚みを増していただければ、ありがたく存じます。

JPOとの自動連携開始後、1日2回の新規登録・更新を随時商品ページへと反映出来る様になりました。結果予約の早期化に繋がり、売り上げに寄与しています。今後更にJPOのデータを活用していきたいと考えておりますので、より多くの出版社様にご利用頂けますと幸いです。



楽天

◆ ご利用方法

■ 出版社

● 登録料

- ・紙書籍 …… 登録料 1点 1,000円+税
- ・電子書籍 …… 登録料 1点 500円+税

* 登録の単位はコード単位です。入会料や年会費などはかかりません。

* 請求方法は取次会社支払控除または請求書振込どちらかをご選択できます。

* 請求対象は当年度（1月～12月）登録分を翌年2月頃に請求いたします。

● 申込方法

当センターホームページ <https://jpro.jpo.or.jp> より申請書①②をダウンロードしご記入ご捺印の上、ご郵送ください。

- ① 出版情報登録センター課金承諾書 <郵送先> 一般社団法人 日本出版インフラセンター 出版情報登録センター
- ② 出版情報登録センター利用申込書 〒162-0828東京都新宿区袋町6日本出版会館

■ 書店・取次会社

● 利用料

情報利用料は無料です。入会料や年会費などもかかりません。

● 申込方法

当センターホームページ <https://jpro.jpo.or.jp> より「出版情報登録センター利用申込書」ダウンロードしご記入ご捺印の上、ご郵送ください。 <郵送先> 一般社団法人 日本出版インフラセンター 出版情報登録センター
〒162-0828東京都新宿区袋町6日本出版会館

一般社団法人 日本出版インフラセンター 出版情報登録センター (JPRO)

- TEL : 03-5261-0539
- メールアドレス : info@jpo-center.jp
- ホームページアドレス <https://jpro.jpo.or.jp>